

精神保健

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 西田 美香

■使用テキスト 新・精神保健福祉士シリーズ2 現代の精神保健の課題と支援 弘文堂

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

「精神保健」とは単に精神疾患や情緒の障害でないというだけでなく、人が心理的にも、身体的・社会的にもよりよい状態となるための諸活動ととらえられている。本科目では、精神の健康における基本的考え方について修得する。(DP1,6,7)

また、現代社会における精神保健の実際と精神保健の諸課題について理解を深めるとともに、精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種 of 役割と連携について修得する。(DP1,2,3,6,7)

さらに、諸外国における精神保健の実情を概観することにより、世界の精神保健対策について修得する。(DP1,3,6,7)

到達目標

- 1) 精神保健の基本的考え方について説明できる。
- 2) 現代社会における精神保健の実際と諸問題を理解し、精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について説明できる。
- 3) 諸外国の精神保健の現状と精神保健活動について説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価

学習指導

第1章 現代の精神保健分野の動向と基本的考え方

この章のポイント

精神保健医療福祉の現状と対象・アプローチ法を掴み、最近注目されている心理モデル・理論、心的外傷（トラウマ）、アディクション（嗜癖）をキーワードに、メンタルヘルス対策について理解を深める。

第2章 家族に関連する精神保健の課題と支援

この章のポイント

家族という集団は人を育みケアする機能を持つ集団で、思い入れ（愛着）を反映し合って生活している。この集団に生じるさまざまな精神保健の課題をステージごとに理解し、支援の視点を学ぶ。

第3章 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ

この章のポイント

今日における学校教育と子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきており、精神保健的課題も子どもたちだけでなく、教員そして社会資源を含めた地域課題へと広がってきている。学校教育における精神保健的課題に関する理解を深めるとともにソーシャルワークの視点からのアプローチについて考える。差別の問題を構造的に理解する。

第4章 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ

この章のポイント

1980年代以降、日本の労働環境は大きく変わり、労働者の心身への負荷は高まる一方である。労働者が抱える心身の問題と課題を概観し、国や事業場の対策を振り返りつつ、ストレスチェック制度や働き方改革といった新しい試みの可能性についても理解を深める。

第5章 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ

この章のポイント

災害被害者、犯罪被害者、自殺、身体疾患に伴う精神保健、貧困問題、社会的孤立、ジェンター・LGBT、他文化に接することで生じる精神保健上の問題、反復違法行為、高齢化など、現代社会における様々な精神保健に関する課題とそのアプローチについて考える。

第6章 精神保健に関する発生予防と対策

この章のポイント

精神保健の予防の考え方を概観するとともに、アルコール関連問題、薬物依存、ギャンブル等依存症、うつ病と自殺、子育て支援と暴力、虐待、認知症・高齢者の精神障害、発達障害、社会的ひきこもり、災害時の精神保健の課題、援助職の精神保健の課題について、その予防と対策について理解する。

第7章 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題

この章のポイント

地域精神保健活動にはそれを構成する土台が地域にある。活動を定める法や施策、その上で継続した活動をするための人材、そして具体的な活動を阻むものとしての偏見・差別の問題がある。地域精神保健活動の土台を学び、それを阻む偏見・差別の問題を構造的に理解する。

第8章 精神保健に関する専門職種と国、都道府県、市町村、団体等の役割および連携

この章のポイント

連携にとって最も重要なことは、相互理解である。精神保健に関する専門職種としてかかわりの深い保健師等や、国、都道府県、市町村や諸団体等の役割について学ぶ。団体やグループの中には、今後ますます重要性が増す当事者活動、セルフヘルプグループや家族の活動が含まれている。

第9章 諸外国の精神保健活動の現状および対策

この章のポイント

諸外国の精神保健活動における重要な実践理論、主要諸国の精神保健対策の現状、国際機関の世界精神保健関連戦略の要点等を理解する。